

(1) エネルギー使用量の集計

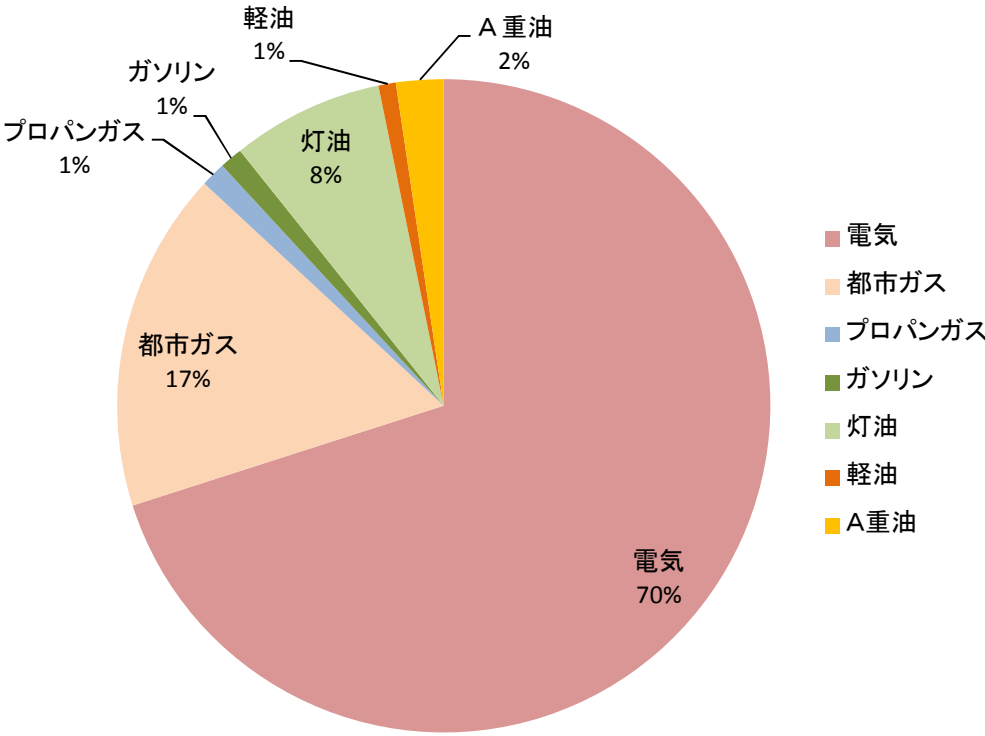
市有施設(庁舎、学校、指定管理者制度導入施設など:1,269施設)における電気、ガス、灯油等と、庁用車(611台)のガソリン、軽油等を集計した。

(2) エネルギー使用量の状況

種類別のエネルギー使用量は、原油換算すると以下のとおり。

種類別	平成27年度 報告使用量	平成27年度 原油換算量(kℓ)	平成26年度 原油換算量(kℓ)	対前年度比(kℓ) 〃 (%)	全体に占め る割合(%)	主な増減の理由
電気	90,614 MWh	23,308	23,302	6 (+0.03%)	70%	第一庁舎・南長野運動公園総合球 技場・斎場等の新設・拡大等による 増
都市ガス	5,040,916 m <sup>3</sup>	5,605	5,185	420 (+8.1%)	17%	小中学校の校舎改築(耐震工事) に伴い、暖房の燃料を都市ガスに 切り替えたことによる増
プロパンガス	156,381 m <sup>3</sup>	408	384	24 (+6.3%)	1%	市有施設利用回数や、利用者数が 増えたことによる増
ガソリン	424 Kℓ	378	418	△ 40 (△9.3%)	1%	庁用車両の削減、市営路線バスの廃 止、暖冬による除雪の機会の減少、エ コドライブ等の実践による減
灯油	2,648 Kℓ	2,507	2,637	△ 130 (△4.9%)	8%	小中学校の校舎改築に伴い、暖房の燃料を 都市ガスに切り替えたこと及び、暖冬により 使用機会が少なかったことによる減
軽油	295 Kℓ	287	376	△ 89 (△23.7%)	1%	暖冬により除雪の機会が少なかった こと及び、スキー場の営業日数 が大幅に少なかったことによる減
天然ガス	—	—	—	—	—	平成26年度より、天然ガス使用 車両廃止のため
A重油	771 Kℓ	777	631	146 (+23.1%)	2%	温泉施設において重油ボイラーの 使用機会が多かったことと、購入の 時期による増
合計		33,270	32,933	337 (+1.0%)		

平成27年度エネルギー種類別構成比  
(原油換算)



(3) エネルギー使用量(原油換算)の推移

平成27年度までのエネルギー使用量(原油換算値)の推移は以下のとおり。(kℓ)

年度	使用量
H22	35,113 Kℓ
H23	34,400 Kℓ
H24	34,113 Kℓ
H25	33,867 Kℓ
H26	32,933 Kℓ
H27	33,270 Kℓ

エネルギー使用量(原油換算)の推移

